

川崎市労働災害防止研究集会で3労組が表彰される 地域フォーラム 講演テーマは「2024 問題」!

11月14日(火) 15:30より川崎市産業振興会館において「令和5年度 川崎市労働災害防止研究集会」が開催され、104名が参加、そのうち川崎地域連合と川崎労福協合わせて73名が参加しました。



福田市長挨拶

この取り組みは川崎市内の各事業所での労働災害防止活動の推進と定着を図り、安心して働くことの出来る職場環境をつくる目的と「住みやすい」「働きやすい」まちの実現に向けて、行政機関・使用者団体・労働団体等が連携して企画・運営をおこない開催しており、今回で59回目を迎えました。

また、この集会では過去3年以上にわたり重大災害を起こしていない団体の功労者と功労団体を表彰しています。今回、川崎地域連合として功労団体 東芝電波コンポーネンツ労働組合、川崎労福協として功労者

川崎労福協 成田事務局長、功労団体 JFE物流労働組合本社京浜支部が表彰されました。

さらに、この労災防研研修集会は講演会と団体の事例発表会も行われています。

川崎地域連合は、この講演会を「地域フォーラム※1」と位置付けています。今回の講演会のテーマは「荷物が届かなくなる?それだけではない2024年問題」として猿田社会保険労務士事務所 五味社会保険労務士を講師にお迎えしました。



講演者 五味社会保険労務士

講演では「2024年問題」とは何か、働き方改革の目的・法改正、長時間労働の問題点、解決方法など多角的な視点でお話をされました。

※1地域フォーラムとは連合が目指す労働問題(労災防含む)などの解決に向けて、行政機関・使用者団体・労働団体等が連携して企画・運営をおこない、フォーラムという情報交換の場を設定すること。



東芝電波コンポーネンツ労働組合
東山執行委員長



川崎労働者福祉協議会
成田事務局長



JFE物流労働組合 本社京浜支部
稲葉書記長